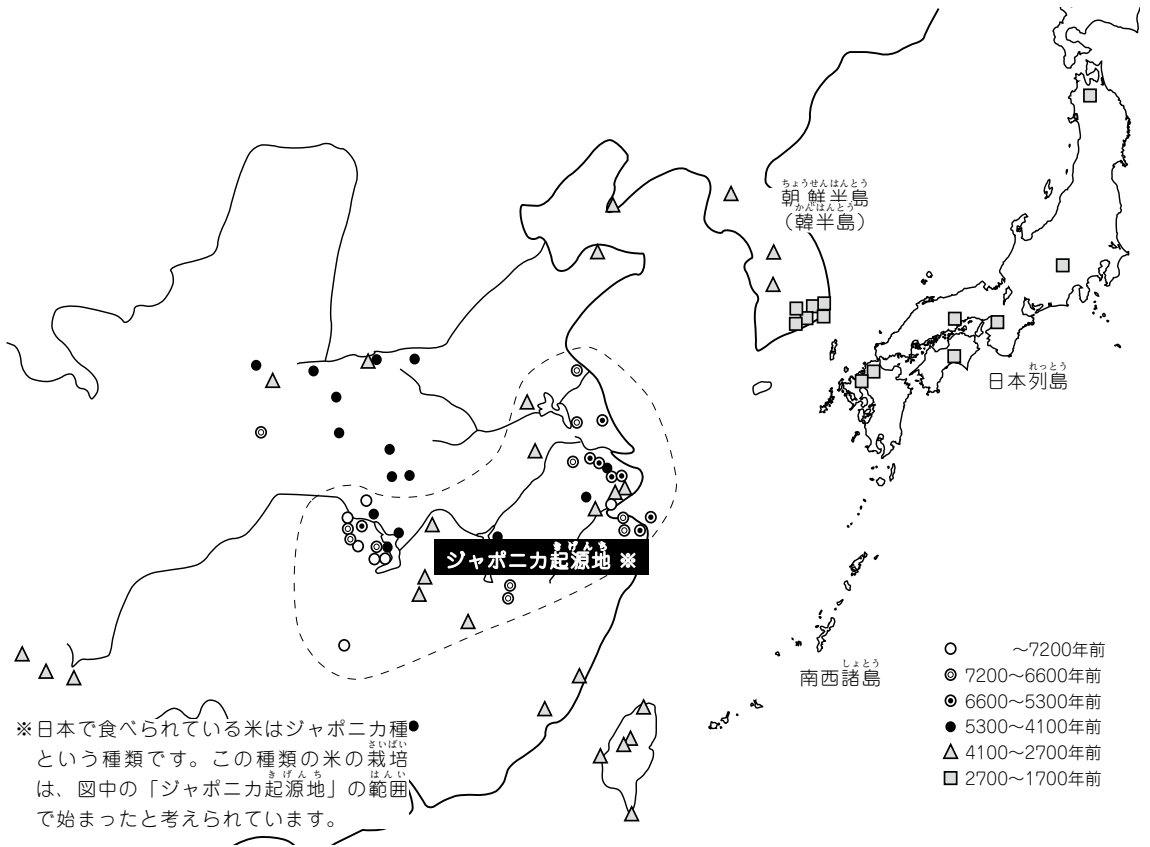


米つくりの始まり

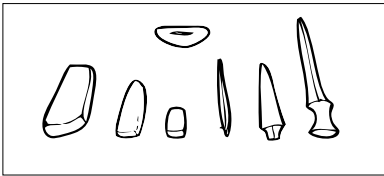


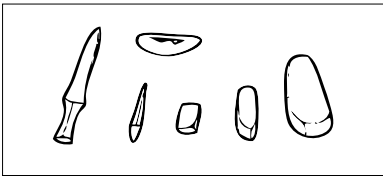
米つくりはどこからやってきた

水田での米つくりは、弥生時代に中国大陸や朝鮮半島（韓半島）から海を越えて日本に伝わってきました。

☆ 米つくりは、どんなところをとおって広がったのか、パネルを見て地図の中に矢印を書きこんでみよう。

☆ 展示してある石の道具（石器）は、右と左で見つかった場所が違ってもよく似ているよ。このことから2つの地域の間で人々の交流があったことがわかるんだ。どこで見つかったのか（ ）に地名などを書きこんでみよう。

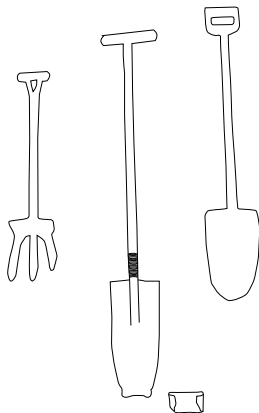
左  ()

右  ()

弥生の米づくり

弥生時代の大きな特徴として、水田での米づくりが始まったことがあげられます。どんなようすであったかは、発掘調査で見つかったもの（展示してある道具など）や、今の農業（かべのパネル）などからわかります。日本の伝統的な米づくりの作業の多くが、すでに完成していたことがわかります。

☆ かべに展示してある「土掘り具（鋤）」は、今のスコップとよく似ているよ。でも、今のものと違うところもあるよ。どんなところが似ていて、どんなところが違うのか、気がついたことを [] に書いてみよう。



土掘り具（鋤）



鋤の使い方

[]

☆ 「春の水田風景」「秋の水田風景」の模型では、弥生時代の米づくりのようすを春と秋に分けて表現しています。今の米づくりとくらべて、同じところや違うところ、気がついたことを [] に書いてみよう。

[]